自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【事未別佩女(事未別記八/】					
	0401900917	事業の開始年月日		2017(平成29)年2月1日	
事業所番号	0491200317	指定年月日	2	017(平成	29)年2月1日
法 人 名	有限会社ペイント・プランニング				
事業所名	グループホーム田園				
	(〒 987-0373)				
所在地	宮城県登米市豊里町内町浦36				
サービス種別 初知点社内別出		定員 計		9名	
及び定員等	認知症対応型共同	(生佔)厂	ユニ	・ット数	1
自己評価作成日	2024年1月6日	評 価 結 果 市町村受理日			

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の生活歴・趣味・個々の特性を把握した上で、入居者様の抱えている問題・現在優先すべき支援を話し合い、入居者様が穏やかに過ごせるように職員一人一人が意識して対応している。又、入居者様との会話も大切にしており、その会話からそれぞれの現在の気持ちや要望などを引き出すように努力している。現在はコロナウィルスも緩和されており、徐々にできる範囲で外出支援をおこなっている。その時の季節の花や食事などを大切にしており、施設に飾ってある作品は職員と共同で作成しており、入居者様が四季を感じられるようにリビングや各居室に飾り、常に目につくところに置いている。入居者様の自己決定の支援の為、お祝い食や飲み物・おやつなど選んで頂き、提供する際の参考にさせて頂いており、選ぶ楽しみを感じて頂いている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評 価 機 関 名	NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ			
所 在 地	宮城県仙台市青葉区村	帕木一丁目2番45号 フ	フォレスト仙台5階	
訪問調査日	2024年2月7日	評 価 機 関 評 価 決 定 日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の理念】

ホーム理念:「常に気遣い 寄り添い 支え合い」

開所当初は運営方針を掲げていたが、ホームの理念を職員で話し合い、わかりやすく、いつでも確認でき言葉にできる様にした

【事業所の概要】母体法人について・立地環境・建物の特徴等

「グループホーム田園」は、母体法人である「有限会社ペイント・プランニング」が2017年2月に開所し、平屋建ての1ユニットで運営している。近くには旧北上川が流れ田園地帯の一画に位置している。自然に囲まれたホームの周辺では、四季折々の風景を感じながら白鳥や鴨の姿も楽しむこともできる。

【事業所の優れている点・工夫点】

優れている点としては、管理者が職員の意見・要望に向き合い、共にケアに努めていることである。職員同士が何でも話し合える協力体制ができており、若い管理者を中心に明るく話しやすい職場づくりが構築されている。また、原発事故発生に備えて、他法人のグループホームと提携し、避難経路の確認などで協力し合っていることである。実際に入居者と一緒にそのグループホームまでの避難に要する時間を計測し、災害に備えている。入居者は年令を重ねてきている状況にあり、「最期までここ(田園)にいたい」と意思表示する人もおり、信頼関係が築かれている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

Ⅰ 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 9
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	10
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	11 ~ 15
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	16 ~ 22
▼ サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)	56 ~ 68	

事業所名

グループホーム田園

Ⅴ.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	0	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある。 (参考項目:18,38)	0	 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。 (参考項目:38)	0	 ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支 援をする努力をしている。 (参考項目:49)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安 なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

7 <u>~</u>	を自己は快したりんで、成果について自己評価しまり				
	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼 関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	0	 ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない 		
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	0	 はぽ毎日のように 数日に1回程度ある たまに ほとんどない 		
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、 事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	0	 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない 		
66	職員は、やりがいと責任を持って働けてい る。 (参考項目:11.12)	0	 はぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない 		
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果 (事業所名 グループホーム田園)

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	評価	「」	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I		家に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様と職員に見えるところに理念を掲示し、それを念頭に支援している。 ミーティング時にも理念の再確認の場を設け、職員同士で話し合っている。	人ひとりの状態を把握しながら実践に生か	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウィルスが蔓延してから地域の行事などが中止になり、地域の方と関わる機会が少なくなってきているが、近所の農家さんから野菜を提供して頂いている。またその野菜が多い時などはご近所に配ったりもしている。	り、ホームで収穫した野菜をおすそ分けし たりと日常的に交流が図られている。ホー ムでの敬老会には、ボランティアが来訪し	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々 に向けて活かしている	コロナウィルスが蔓延してから地域の行事や認知症カフェの中止等があり、コロナウィルスが蔓延する前に比べると地域活動が出来ていない状況である。しかし地域の会議に常に参加しており、地域貢献として何が出来るか計画中である。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	With a rath constitution of the control of the cont	運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。 メンバーは地域包括職員、区長、民生委 員、老人クラブ会長、市職員が参加してい る。主にホームの運営状況、行事報告、ヒ ヤリハット報告、身体拘束適正化検討委員 会からの報告等を行い、参加者から質問や アドバイスを得て情報交流を行い運営に反 映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積極 的に伝えながら、協力関係を築くように取り 組んでいる	市からの研修などに積極的に参加させて頂いている。又、運営推進会議に参加していただき、施設の状況を報告し、助言や確認を行なっている。その際、他施設の状況も確認している。	運営推進会議に長寿介護課職員が参加しており、研修会の案内やその時々の情勢の変化等について情報を得ている。運営推進会議で毎月発行している広報誌を配布しながらホームの取り組みや状況を報告し、良好な協力関係づくりに努めている。	

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	(5)	防サービス指定基準における林中の対象とか	施設内でも研修を行ない事例を基に話し合いを持つ場を設けている。ご家族様には入居の際に説明、同意を得ており、身体拘束ををやむを得ず行なう場合にも必ずご家族様に説明	ロック、ドラッグロックの具体的な事例を 毎回取り上げ、職員全員で共有し支援に繋	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修を積極的に参加させて頂き、施設内でも研修を行ない事例を基に話し合いを持つ場を設けている。ミーティングや申し送りで入居者様の状態を把握しており、各自の行動に責任をもって業務にあたっている。	確認し、情報共有に努めている。不適切なケアや言葉遣いなどは、その都度注意している。入居者の事故に繋がる事例(ベッドの	
8					
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族様に説明し、同意を得てから 契約書に署名を頂いている。契約内容の変更 や改定の際にはご家族様に説明し、同意書に 署名を頂き管理している。不安や疑問等は随 時お話を伺い対応している。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それら を運営に反映させている	ご家族様が来訪時には現状を報告し、その都度ご家族様の気持ちや要望をお伺いしている。現在はお手紙やお電話での報告を多めに行っている。問題が発生した場合には、ご家族様に連絡、説明し、理解して頂けるように努めている。	家族の来訪時や電話連絡の際に意見・要望を聞き、支援や介護計画に反映している。 毎月、請求書と一緒に近況報告とホームの 広報誌「かえる通信」を送付しており、そ れを見て意見が寄せられることもある。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させている	理・作品制作やレクリエーションなどは職員	兄・安皇を連宮や日々の文援に反映してい る。調理や献立作成、レクリエーションの	

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項 目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に研修や資格取得の支援等を行ないスキルアップすることで意欲的に仕事ができるように配慮している。又、子育て中の職員が働きやすいようシフトの調整をしたり職員が休みやすいように希望などを伺いシフトに反映している。		
13		の実際と力量を把握し、法人内外の研修を受	市や各業者からの研修には積極的に参加させ、多職種との関係を築けるよう支援し、情報交換・知識を得る機会を設けるようにしている。個々のスキルアップに繋がるように環境づくりに努めている。		
14	(9)	る機会をつくり、ネットワークづくりや勉強	コロナウィルスが蔓延する前は認知症カフェ 等を通じて情報交換等を行なうことが出来た が、現在も交流の場が少なくなっている。現 在はオンライン研修が増えており、研修内の グループワークなどで情報交換の場を設けて いる。	年2~3回、地域包括支援センターが開催するネットワーク会議に参加し情報交換している。他の施設の状況やホームの現況を報告し合い意見交換等が行われ、サービスの質の向上に繋げている。原発事故の際の避難場所として近隣のグループホームと提携を結ぶなど協力体制を整えている。	
П	安心	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		【凩っているとし 不安わとし 亜胡笙に甘む	入所時にご本人様とご家族様から要望を伺い、日々の活動の中で情報を引き出し、ご本人様に寄り添ったサービスを提供できるように支援している。引き出した情報もミーティングや申し送りで情報共有している。	l /	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご本人様とご家族様から要望を伺い ご家族様の不安や思いにも寄り添うように配 慮している。入居者様の状況をお手紙やお電 話で報告しその都度ご家族様のお気持ちを 伺っている。出来る限り相談しやすい環境づ くりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支援 を見極め、他のサービス利用も含めた対応に 努めている	入所時にご本人様とご家族様の要望を伺い、 その時望まれているサービスを提供できるよ うに情報を整理し把握するように努めてい る。施設のサービス・病院・訪看との医療連 携で体調管理や緊急時の対応を密に行ってい る。		

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は常に入居者様を共同生活する仲間と捉え、朝の掃除、洗濯物畳み、テーブルなどの家事や畑仕事を手伝っていただけるよう取り組んでいる。入居者様個々の出来る事を把握し一緒に取り組んでいただける環境づくりをおこなっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の来所時にはご本人様の現況を報告 し、請求書を送る際にも一緒にお手紙を同封 している。常に入居者様の現況やその時の問 題を報告・話し合うようにしており、ご家族 様とはなんでも話し合える関係づくりに努め ている。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に努 めている	コロナウィルスが蔓延していた為、面会や外 出が出来ない状況でご家族様以外との関係が 継続できない状況となっていたが最近は知人 や親戚などが来所し、玄関先ではあるが会話 を楽しめるようになってきた。	の区長が来訪したり、婦人会の人が訪問したりと馴染みの人との関係が継続できるよ	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合 えるような支援に努めている	入居者様一人一人が出来る事を把握し、日常の家事・作品作り・レクリエーションを通して、入居者様同士が会話を楽しみ、お互いが助け合える環境作りに努めている。入居者様同士の間に職員が入り関係維持の為サポートしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応じ て本人・家族の経過をフォローし、相談や支 援に努めている	退所後についてはご家族様や入所施設等からの問い合わせや相談に対応している。退所後にご家族様から近況について報告を受けることもある。		
Ш	その)人らしい暮らしを続けるためのケアマネシ	ジメント		
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人本 位に検討している	日頃の日常の会話や行動からご本人様の想いや要望をくみ取るようにしており、レクリエーションや食事に反映している。ご本人様の希望によっては職員が代理で希望の物を購入する場合もある。	が困難な入居者とは日々の会話や行動で思 いをくみ取りケアに繋げている。つるし飾	

自	外如		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過等 の把握に努めている	入所前の情報を整理し把握に努めている。日頃の日常の会話から今までおこなってきたことや趣味等を把握し、施設の生活の中で活かせる環境づくりに取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	日頃の日常会話や行動から一日の流れを把握 し、施設の生活の中で継続して行えるように 支援している。		
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティングで職員がモニタリング・アセスメントした内容を報告し、話し合う場を設けており、介護計画に結び付けている。状態の変化に伴い、ご家族様と話し合いを行ない、介護計画の変更をし、支援している。	ている。介護計画は、入居者、家族、かかりつけ医、ケアマネジャー、担当職員、管	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実践や介護計画の見直しに活かし ている	日々の状態を記録し、気づいたこと等職員同士で話し合っており、申し送りも行なっている。入居者様にとって最善の対応を心掛けており、月1回のミーティングで個々の情報交換・話し合いをし決定したことを実践し、支援に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	健康状態や精神状態の悪化に伴い、施設での 生活に支障をきたすようになった場合を考え て、医療・訪看・老健等の多職種と連携を行		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安 全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう 支援している	地域の会議や運営推進会議のみではあるが地域包括支援センターや多職種と連携しており、現在できる支援をおこなっている。運営推進会議では報告・話し合い・助言を頂き、個々の生活に繋げられるよう支援に役立てている。		

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	評価	項 目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
30		一	ない、担当医と入居者様の現況・問題点を密に相談できる関係づくりをしている。病院受診した内容はご家族様に報告し、希望に沿うように対応している。	が同行支援している。訪問看護ステーションと契約し、週1回来訪し健康管理を行って	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看 護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切 な受診や看護を受けられるように支援してい る	問題点の相談や助言を頂く。職員と看護士の関係づくりも出来ており、緊急時にも病院と		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院後は病院に頻回に連絡し、現在の状況・ 状態を確認したり、聞き取りで把握し、その 情報をご家族様に報告している。退院時もケ アワーカーを通して、連絡を密にとり、ス ムーズに退院出来るように連携している。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合いを 行い、事業所でできることを十分に説明しな がら方針を共有し、地域の関係者と共にチー ムで支援に取り組んでいる	り 現在の世辺が重度化したり 数書期につ	現在は看取りをしていない事を入居時に家族に説明し、同意を得ている。協力医療機関や訪問看護ステーションとの連絡体制を整えている。緊急時対応同意書を作成し、家族や本人の意向を確認し毎年更新している。重度化した場合には家族に説明し、入院や次の施設へ移れるよう検討し連携を図りながら支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けている	事故や入居者様の急変などの緊急時の対応などは施設内研修を行なっており、緊急時の対応も職員の目につくところに掲示している。 入居者様の情報がすぐに説明できるように緊急持ち出し書類を準備している。		
35		わず利用者が避難できる方法を全職員が身に	参加し、その研修で学んだことを施設の体制など月1回のミーティングで報告している。 原発訓練については、県の指示に従ってい	火災、風水害、地震、原発対応のマニュアルが作成されている。災害によって避難先が違うので、それぞれに沿った訓練を行っている。火災訓練は年2回、消防署立会いのもと時間を計り、毎回火元を変え実施している。避難が完了した部屋は避難済みの名札を居室にかけ対応している。備蓄品は3日分である。	

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項 目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
IV	その)人らしい暮らしを続けるための日々の支	援		
36	(16)			居者の個性や介護度を把握し、言葉遣い等 に配慮して取り組んでいる。排泄介助は速 やかにさりげなく行い、居室に入室の際は	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	日常の会話から入居者様の想いを把握し、危険を伴う行動や発言以外は出来る範囲ご本人様の意向に添えるように対応している。食事やレクリエーションなど希望を伺い、自己決定の機会を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日 をどのように過ごしたいか、希望にそって支 援している	一日の流れに掃除・体操やリハビリ・レクリエーションや作品作りなどが組み込まれているが、ご本人様の気持ちを優先し、無理に行ってもらうことのないように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援している	常に洗面・整容の支援を行なっており、洗面・整容の維持が出来ない方には職員が清潔な状態が保てるように手助けをおこなっている。希望する方には職員が代わりに衣類や化粧品を購入してくることもある。2ヶ月に1回は職員の方で散髪を行なっている。		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職員 が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握し、日常会話等から食事のメニューに反映することもある。行事食やお祝い食等入居者様に喜んで頂けるように、味だけではなく、見た目も工夫している。食後の片付けではお手伝い頂ける方にテーブル拭きやお盆拭き、下膳を職員と一緒に行なっている。	とできることを職員と一緒に担っている。 栄養管理がされている「クックデリ」や宅配を利用し、楽しく食事ができるようにしている。	
41					

自己	外 部		自己評価 外部評価		
評価	評価	項 目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ た口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの準備・声掛け・誘導を行なっている。入れ歯の方は洗浄剤を使用し清潔保持に取り組んでいる。常に清潔で快適な生活が送れるように支援している。必要な際は歯科受診も行なっている。		
43	(18)		性し、順貝向工の中し込りでく / イング (を行い、必要があれば排泄介助を行っている。転倒防止対応が必要な入居者には離床 センサーを設置し、安全に配慮している。	
44		の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた 予防に取り組んでいる	食事・水分摂取・排便の状態を毎日記録しており、ミーティングでも排便の状況を話し合う機会を設けている。病院受診の際も担当医に相談し、整腸剤等の薬を処方していただき、定期的な排泄が出来るように支援している。又、体操・リハビリ等を行ない、身体を動かす機会も設けている。		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や 時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入 浴の支援をしている	入浴は1日置きで午前中に行っているが、ご本人様の状態により、入浴を希望しない場合は、無理に進めることはせず本人の意向に沿うように対応している。又、季節のお風呂を大切にしており、ゆず・りんご・お花等、目で見て楽しんで頂ける工夫もしている。	つ。八俗則には仲嗣官理を行い、祈態に変	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠 れるよう支援している	休憩時間でなくてもご本人様の希望があればお部屋で休んでいただけるような環境づくりをしている。夜間帯は排尿回数が多い方、歩行が不安定な方等居室にポータブルトイレを設置し、少しでも安眠できるように配慮している。又、安眠できるように寝具の清潔を保ち、居室内の温度・湿度の調整を行なっている。		

自 外 己 部			自己評価	外部評価	
評価	評価	項 目 	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服薬 の支援と症状の変化の確認に努めている	個々にお薬袋があり、施設が管理している。 服用の際には職員がお薬に名前・日付・朝昼 晩就寝の記入を確認してから服薬支援を行 なっている。お薬の準備の際も準備した職員 と確認する職員を別にし間違いが起きないよ うに対応している。お薬の変更の際には申し 送りやミーティングで報告し、職員全員に周 知できる体制をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援 をしている			
49		に出かけられるよう支援に努めている。ま た	今年度もコロナウィルス萬栄の為、頻回な外出支援はできなかったが、桜を見にドライブをするなど、入居者様の気分転換になるように努めた。又、施設の畑仕事で外に出かけたり、天気のいい日にはウッドデッキでおやつを召し上がったりと外の空気を吸う機会を設けた。希望される方には職員が同行し、買い物にでかけられるよう支援している。	平筒沼の桜、南方のアヤメ、長沼のハスなど季節ごとにドライブを兼ねて出かけ、入居者の気分転換に努めている。ホームの周辺を散歩する入居者には職員が同行し見守りをしている。買物支援も行なっており、通院の帰りに好みの物を購入する人もいる。ホームに移動販売のパン屋さんが来ることもあり、入居者の楽しみになっている。	
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応じ	自分でお金を管理している方は少ないが、希望される方には病院受診の際に買い物できる支援を行なっている。職員の方でトラブルにならないよう残金も確認している。お金を所持していない入居者様でも要望により、施設で立替えて買い物ができるように支援している。		
51			ご本人様の希望に沿って、電話をかけたりしている。手紙が書けない方には請求書を送る際にご本人様の要望を代筆して伝えるようにしている。お手紙や年賀状が施設に届いた場合もご本人様にお渡しし、確認して頂いている。		

自	外		自己評価 外部評価		
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
52		堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ように環境づくりを行なっている。又、季節の飾りを職員と入居者様で作成し、ホール・ 廊下・各居室に飾らせて頂き、楽しい空間づくりに心掛けている。	きな壁画が飾られ、楽しい空間になっている。広い廊下には畳式の椅子が設けられ、好きな場所でゆっくり過ごすことができる。温・湿度は職員が管理し、定期的に換気も行われている。	
53		1 9	個々にホールの席が決まっているが、お話を されるときは移動されたり、ご自分のタイミ ングでソファーに移動し休まれたりしてい る。又、各自の居室に呼び込んで会話を楽し んだり、廊下に長椅子があるので、そこに座 り、外を眺めながら会話を楽しまれたりして いる。		
54		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みのも のを活かして、本人が居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている	入所の段階でご家族様にご本人様の愛用しているものや慣れ親しんだものをご持参して頂くように説明をさせていただき、ご本人様の過ごしやすい環境づくりをしている。ご家族様の写真や入所後に作成した作品を飾ったりしている。	人居者にはテレビ、カーペット、棚など希 望の物を持参してもらっている。壁には家 族写真やホームでの行事写真、表彰状が飾	
55		り 建物内部は一人ひとりの「できること」や	ホールと廊下を広めにとっており、歩行に支障がないように配置している。廊下には3箇所の長椅子とソファーを設置し、座って入居者様同士が会話をしたり、休んだりする場を作っている。主要な各場所には手すりがあり、杖や歩行が不安定な方でも安全に歩行できるようにしている。		